

◆ 行田さくらロータリークラブ週報

◆国際ロータリー第 2570 地区ガバナー地区行動指針

Unite For Good～よいことのために手を取りあおう～を合言葉に
「クラブ活性化」を実現していきましょう！

ガバナー 坂口孝

◆会長メッセージ

よいことのために手を取りあおうを踏まえ創立 50 周年を契機として、
行田さくらロータリークラブが地域と共に歩み続けることを進め
ましょう。

創立 50 周年記念テーマ「ロータリーで未来を拓く」

みんなで手を取りあうクラブへ

会長 宮本伸子

会長 - 宮本伸子

副会長 - 阿部秀二郎

幹事 - 松岡由浩

事務局 - 埼玉県行田市 5-10 スリー
ハートビル 3F

電話 - 048(564)3000

例会日時 - 火曜日 12:30～13:30

例会場 - 行田商工センター2 階ホ
ール

電話 - 048(553)0510



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

第 2395 回(9 月 16 日)例会報告

・点鐘

・ロータリーソング 我等の生業

・4つのテスト

・来訪者紹介

ものづくり大学 学生課長 課長 久力 一誠様

// 学生課学生支援 係長 工藤 淳様

// 情報メカトロニクス学科3年 松井 健斗様

// // 4年 藤野 楓士様

// 建設学科 3年 楡木 満実子様

// // 4年 古館 優羽様

・会長報告 宮本 伸子 会長

・幹事報告 松岡 由浩 幹事

・結婚祝 田島博夫会員 長島豊会員 高橋正俊会員

・誕生祝 江口明 会員

・出席報告 松田久 委員

52 48 23 1 50%

・ニコニコ 高橋正俊 委員

・委員会報告

ロータリー財団委員会 駒見行彦 委員長

「ロータリー財団セミナーについて」

・「ロータリーの友 読み処紹介」ロータリー雑誌委員会

田邊弘司 副委員長

・卓話

ものづくり大学 情報メカトロニクス学科

3年 松井 健斗様

// //

4年 藤野 楓士様

// 建設学科

3年 楡木 満実子様

// //

4年 古館 優羽様

・謝辞 宮本 伸子 会長

・点鐘 宮本 伸子 会長



(来訪者の皆様)



会長報告

宮本伸子 会長

この9月は基本的教育と識字率の向上月刊です。世界の識字率のデータを見ると、1位リヒテンシュタイン、次に北朝鮮、実に日本は28位で、これは乙系の取り方とか、どこまで厳密にやるかといった問題なのかとも思います。一方で識字率が低いのは、南スーダン、アフガニスタン、ニジェールなどのアフリカの諸国や紛争地域が並びます。

また男女の格差は別で、初等教育就学率ではセネガル、ザンビアは女性が高く、チャドやギニアは男性が高いそうですし、後期中等教育つまり高校の就学率では、ジャマイカやトンガは女性が高く、アフガニスタンやイエメンは男性が高いという結果だそうです。アフガニスタンなど、教育面も、ポリオなどの健康面も大きな問題を抱えているのだと思います。

今日はさくら奨学金の奨学生の卓話です。高等教育、つまり大学などに対する公費と私費の割合をみると、日本は公費が1/3で私費が2/3です。私立大学だけにすると公費の援助はもっと少なくなります。例えばスウェーデンなどの北欧では、国民だけでなく留学生もほとんど学費の負担なく学ぶことができます(その分税金は高いですが)。

日本の中の日本人に対する奨学金は、ほとんどが貸与なので学生自身の借金になるという課題もあります。そういう環境から、ものづくり大学さくら奨学金はとてもありがたい制度であり、今後とも継続できるように、この創立50周年でまた継続できるような呼びかけもしていきたいと考えています。

それでは、奨学生の皆さんの卓話をよろしく願いいたします。



幹事報告

松岡由浩 幹事

皆様こんにちは

本日の幹事報告は、今後の予定を中心に、なるべく要点をお伝え出来ればと思いますので宜しくお願い致します。まずは先週のゆかた例会ですが、親睦家族委員会、SAAの皆様、大変お世話になりました。お疲れさまでした。続いて9/30の例会ですが、夜間例会で会場は商工センターですので宜しくお願い致します。

内容は、米山奨学生チャンさんのスピーチとなります。

10/21の例会も夜間例会、会場はスポーツホテルとなります。内容は、市内起業家「みどりの丘」代表の山岸様による卓話となっております。

最後に、10/26が例会日で、ものづくり大学の学園祭「碧蓮祭」に例会として参加致します。

・委員会メンバー9:00 集合

・会員は10:00～14:30の間で参加

ただ、10:00に集合写真を撮りますので、是非この時間にお集まり頂ければと思います。

それでは、以上で幹事報告とさせていただきます。

ありがとうございました。



(結婚祝)



(誕生祝)



(ロータリーの友 読み処紹介)

ニコニコ報告

(宮本会長)

本日はさくら奨学金の奨学生の卓話です。

ものづくり大学情報メカトロニクス学科4年生・藤野楓人(カザト)様、同じく3年生・松井建斗(ケント)様、建設学科4年生・古舘優羽(フルダテユウ)様、同じく3年生・楡木満実子(ニレギマミコ)様、そして学生課長・久力一誠様、学生支援係長・工藤淳様、本日は来訪いただきありがとうございます。卓話をよろしくお願いいたします。

※同文

松本健一会員、田邊会員、三島会員、矢澤会員、神田会員、川野会員、丑久保会員、松本猛会員、江口会員、飯塚会員、山岸会員、駒見会員、横川会員、田中里美会員、松田会員(松岡幹事)

本日は、ものづくり大学さくら奨学生の皆様、卓話宜しくお願い致します。また、前回のゆかた例会では大変お世話になりました。

(細井パストガバナー)

ものづくり大学の皆様よろしくお願いいたします。

(五十幡パストガバナー)

本日はものづくり大学学生課長久力様、学生支援係長工藤様、ものづくり大学学生楡木様、藤野様、古舘様、松井様、ようこそ行田さくら RC にお越しいただきました。卓話、楽しみにしておりました。そしてものづくり大学さくら奨学生を増額しましょう。

(新井会員)

ものづくり大学、さくら奨学生の皆様、本日はようこそ、ありがとうございます。皆様の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。

(橋本恭一会員)

暑さも今週で終息だそうです。私もヘロヘロ一杯を越したいと思います。ものづくり大学の皆様、今日はありがとうございます。

(田島会員)

結婚記念のお祝いありがとうございます。

(長島会員)

結婚祝いのお花ありがとうございました。事ム所のカウンターに飾ってあります。

(高橋正俊会員)

結婚祝いありがとうございます。

以上。

委員会報告

ロータリー財団委員会:駒見委員長

9月6日に地区の財団のセミナーがあって出席してきました。

財団による寄付のお金の流れなどの説明があり、また最後には財団奨学生の報告やこれからの意気込みの話があり、人材育成の意義を感じました。

卓話



私は大学を「自分を広く深く成長させる機会」と捉え、偏りなく多角的に学ぶ姿勢を貫いてきた。主専攻に加え副専攻や他大学の授業にも挑戦し、四つの習慣 ①予習 ②復習 ③不明点について質問をする ④余裕を持ち課題に着手すること を徹底。3DCADの3D出力失敗やアナログ回路実験の理論値との不一致などの壁に対し、原因究明と再設計・文献調査で克服した。成果は、GPA1年3.62 席次3位、2年3.73 席次2位。現在は3年次として「予復を怠らない・早期の課題着手・疑問を放置しない」を軸に、学び続け社会に貢献できる人材を目指す。複雑化と技術革新が進む時代に、一つの専門に頼らず複数の視点で柔軟に対応できる力が必要と考えた。準備と反復を重ねることで知識が定着し課題や試験にも落ち着いて臨める自信を獲得、失敗から逃げず学び続ける姿勢こそ真の成長につながると実感した。今後も環境を最大限に活かし、自分の専門を客観視しながら探究を深め、一步一步成長を続ける。



本日は、私が大学生生活で最も力を注いだ「ロボコンプロジェクト」についてお話ししま

す。NHK 学生ロボコン優勝を目指す団体で、私は中学から続けてきたロボット製作をさらに高いレベルで挑戦するため、このプロジェクトに参加しました。

1 年次は新人大会で優勝し、準備と改善の重要性を学びました。2 年次以降は本戦に挑戦

し、2 年連続で出場、奨励賞を受賞しました。特に2024 年度は AI 課題に直面しました

が、市販センサーを活用して課題を克服し、問題解決能力を大きく伸ばしました。

現在は卒業研究として、後輩がより挑戦しやすい開発基盤の整備や指導に取り組んでいます

す。また、頂いた奨学金は研究費、学費等を支えてくれた両親への恩返しに活用させていただきます。

大学生活を通じて得た技術力、課題解決力、仲間と挑戦

する喜びを糧に、社会に貢献できる技術者を目指してまいります。



この度は、奨学生に選出していただき有難うございます。私は長年専業主婦でしたが、若い頃の夢が諦めきれず子が巣立ったのを機にももの大に入学しました。もの大は知識と技能を両軸としているので実技が多く、若者と同様にやるのは体力的に辛いですが、誰よりも率先して動くことで特別扱いもされず実習を行いました。睡眠時間を削りレポートや課題に追われる過酷な日々の中、優先順位をつけることの大切さを学びました。また2年のインターンシップで、一級建築士事務所で大学の知識とは異なる実務としての建築を学びました。

50代が大学生活を継続するには健康が最も大切です。その為に、時には明日の私に期待して睡眠時間を確保することも必要です。私はこの年で初めて先を見越して諦められるようになり、人はその気になりさえすれば幾つになっても成長できると知りました。将来は建築士として社会の役に立てるようこれからも勉学に励みますので応援をお願いします。



私が大学3年間を通して最も力を注いできたことは、建築大工にかかわる各競技大会を通して、知識・技能はもちろんのこと、就職後活かせるこ

とができる学びを得ることです。

私はこれまで、意欲的に建築大工系の資格・競技大会に多数関わらせていただきました。

建築大工 3 級・2 級技能検定、若年者ものづくり競技大会、技能五輪全国大会などです。し

かし、実務で行う建築大工工事とは少し異なる内容です。

それを踏まえ私が一つ徹底してい

たことは、ただ単に作品を作っておしまいにするのではなく、普段の練習過程において、就

職後に、活かせることを探りながら取り組むことでした。

結果、各競技大会であらゆる視点から就職後に活かせる学びを得ることができ、さらには

入賞も果たせたため、非常にやりがいを感じました。今までの競技大会人生は無駄ではなか

ったと自分に強く言い聞かせ、来年度からの大工見習いとしての社会人を頑張って駆け抜

けたいです。



ものづくり大学校奨学金は 2003 年に行田さくらロータリークラブによって制度を作っていただいてから、延べ 87 人の奨学生が奨学金を頂いており、有意義に使わせていただいております。ものづくり大学ではおよそ半数の学生が何らかの奨学金を得て学んでおり、奨学金へのニーズは極めて高いと言えます。

卒業生の中で3人ほど今日は紹介をさせていただきますが、いずれも在学中に奨学金をいただいたことで、学びの機会が増えたことに感謝しておりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

(卒業生の内容は個人情報保護の観点等もあり省略)



(謝辞)

点鐘 宮本 伸子会長